



本部  
申3号

## 「商品仕入業務の株式会社びゅうトラベルサービスへの移管」に関する申し入れを提出！

本部は、7月2日に「商品仕入業務の株式会社びゅうトラベルサービスへの移管について」の説明を受けました。

旅行業の組合員は、「東日本エリアの観光流動の創造」を目指し、多くの施策を担ってきました。そして、旅行業に専門特化した会社である株式会社びゅうトラベルサービスに、商品造成業務を移管してきた経緯があります。

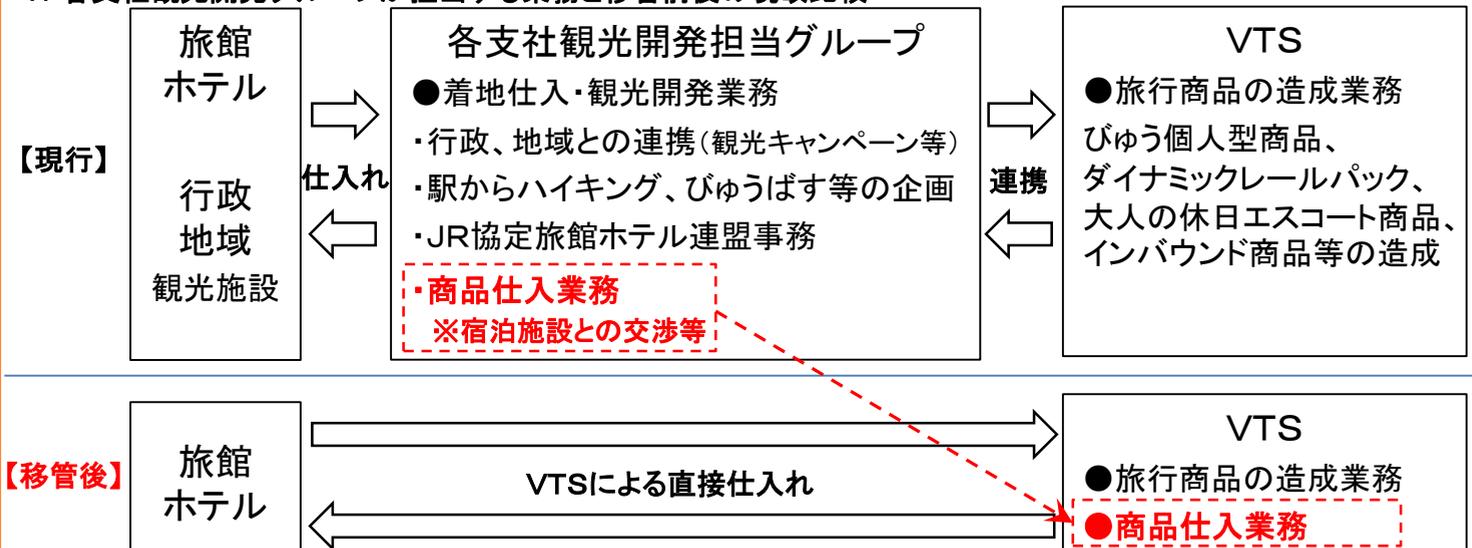
2015年締結の議事録確認では「地域と連携した着地仕入・観光開発については、各支社で行うこととなる。」と労使で確認してきました。着地仕入と観光開発をJR本体で行うことにより、旅行業社員の技術力とサービスレベルの維持・向上を目指し、今後もJR東日本として旅行業を担うために労使で議論したものです。今回の説明内容は、この間の労使議論を越える内容であり、改めて労使で議論し、新たな枠組みを創る必要があります。

本部は、組合員の働きがいとサービス向上を目指して下記の通り申し入れました。今後、団体交渉を行います。

### 【会社からの説明内容】

2016年4月より、旅行商品の造成は株式会社びゅうトラベルサービス(以下:VTS)に移管しているが、付随する宿泊施設との料金設定や部屋の確保等に関する業務については、各支社の観光開発担当グループが受け持っている。インターネット販売が主流となるなど急激な変化が進む旅行業界において、商品造成プロセスの一環としての宿泊施設との交渉等は、商品造成を受け持つホールセラーが直接手掛ける方がメリットが大きいことに鑑み、現在各支社の観光開発担当グループで行っている業務のうち、商品仕入業務についてはVTSに移管していくこととし、各支社が地域と観光開発業務により注力できる体制を作り上げることとしたい。

#### 1. 各支社観光開発グループが担当する業務と移管前後の現改比較



#### 2. スケジュール

- ・東京支社・首都圏支社および仙台支社は2018年度9月以降順次実施
- ・その他の支社については、びゅうトラベルサービスの受け入れ体制状況を鑑みて段階的に行う。

### 【組合からの申し入れ内容】

1. 商品仕入業務を移管する根拠を明らかにすること。
2. 商品仕入業務の移管にあたって、各支社における要員の削減があるのか明らかにすること。
3. 株式会社びゅうトラベルサービスにおいて、商品仕入業務の知識と経験があるのか明らかにすること。
4. 移管時にJR本体からの出向が発生する場合の目的を明らかにすること。
5. 旅行業部門における技術力とサービスレベルの向上を通じて、旅行業社員の働きがいを向上させること。
6. 施策実施にあたっては、「新たな30年を展望する施策実施に向けた確認メモ」を遵守すること。

**支社営業部や旅行業部門で働く仲間の働きがいを創造しよう！**